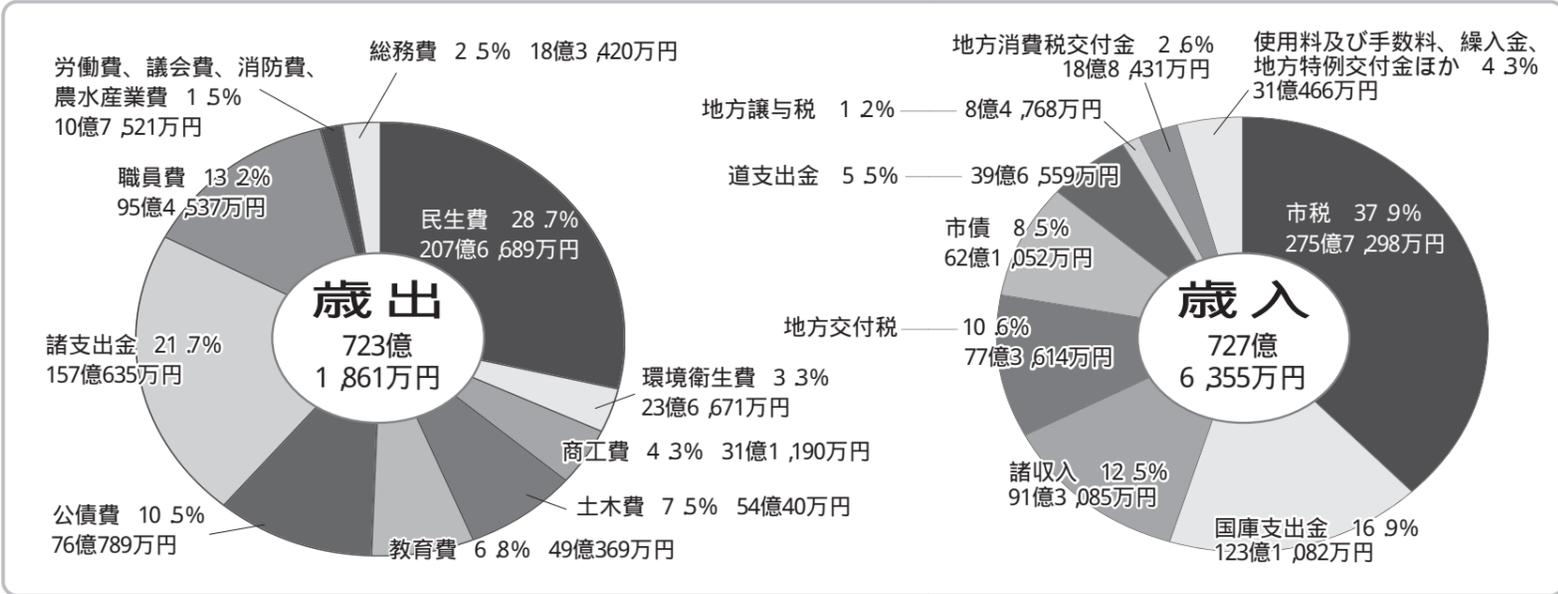


平成22年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回り、また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。今後も更なる財政健全化に努めてまいります。

一般会計の決算状況



一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。歳入（年度中の収入）の総額は727億6,355万円で、前年度に比べ8億9,691万円（1.2%）減少しました。歳出（年度中の支出）の総額は723億1,861万円で、前年度に比べ10億2,510万円（1.4%）減少し、差引額4億4,494万円の黒字になりました。

これは歳入の根幹である市税をはじめ、諸収入、国庫支出金などが減少しているものの、地方交付税が6億5,696万円（9.3%）、財産収入が1億8,857万円（48.0%）増となったことによるものです。歳出のうち、臨時事業費は総額19億1,606万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、第1学校給食共同調理場移転新築事業や（仮称）沼ノ端健康増進施設建設事業、学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常にかかる経費については、景気低迷もあり扶助費の増加となっています。

市民一人あたりの決算額



市税負担額

158,648円（474円減少）

使われた経費

416,102円（5,870円減少）

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 104,421円（15,897円増加）
- 人件費 [職員の給与などに] 50,508円（991円減少）
- 公債費 [借入金の返済に] 43,773円（529円減少）
- 投資的経費 [施設建設などに] 33,171円（635円減少）

金額は一般会計の決算額を平成23年3月31日現在の人口173,800人で割ったもの。（ ）は対前年度比

特別会計の決算状況

国民健康保険事業
平成22年度決算では4億3,763万円の黒字となり、平成21年度に引き続き黒字決算となりました。

老人医療
平成20年度から「後期高齢者医療制度」の開始にともない、本会計は老人保険制度に係る20年3月診療分以前の医療費過誤調整のみとなっています。

沼ノ端鉄北土地地区画整理事業
平成22年度決算の赤字分は、平成23年度からの繰上充用金を充てました。

職員退職手当基金
定年や勲褒などによる退職者12人と普通退職者36人に総額28億6,111万円の退職金を支給しました。

霊園事業
平成22年度は122区画を造成しました。

企業会計の決算状況

水道事業
新設事業では柳町、沼ノ端地区などへの配水管布設や、泉野小学校に緊急貯水槽、高丘浄水場に緩速ろ過池などを新たに設置しました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、錦多峰浄水場の送水流量計の更新工事を行いました。収益的収支は4億2,405万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は3億6,851万円でした。

下水道事業
明野地区、錦岡地区などの污水管を整備し、水洗化便所普及率99.7%になりました。また、錦岡地区をはじめ、ときわ、澄川、清水、沼ノ端地区などの浸水対策として雨水管を整備しました。合流式下水道改善対策は、音羽・双葉地区などの污水管面整備、西部地区の污水幹線整備など、西町下水処理センター場内ポンプ場の機械工事に着手しています。収益的収支は2億1,248万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は1億6,404万円でした。

自動車運送事業
車両老朽化対応のため、中古乗合車両を3台購入したほか、バス待合所を2棟新設しました。また、高齢者を対象とした割引制度などの継続的な実施により、利用者確保に努めた結果、年間輸送人員で369万4千人の利用がありました。前年度より7万8千人の減少となりました。収益的収支は1億4,523万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は1億4,475万円でした。

市立病院事業
良質な医療提供体制を維持するため、医療スタッフの確保を図り、医師1人、看護師11人などを増員しました。また、手術用顕微鏡や超音波白内障手術装置などの医療機器を整備しました。収益的収支は1億3,300万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は1億3,300万円でした。

市営住宅事業
明徳団地で3階建て1棟（24戸）と駐車場を完成し、東開町団地に60台の駐車を整備しました。収益的収支は3,732万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は3,732万円でした。

公設地方卸売市場事業
計画修繕工事として、青果棟の売場内冷蔵庫扉や低温流通センターの冷凍機の改修を行い機能維持を図り、また水産棟北側の外壁改修を行いました。経営内容については、収益的収支で純利益は1,502万円でした。

会計名	22年度決算	差引
国民健康保険事業	歳入 170億7,985万円 歳出 166億4,222万円	43,763万円
老人医療	歳入 6,278万円 歳出 6,278万円	-
沼ノ端鉄北土地地区画整理事業	歳入 8億0,492万円 歳出 27億2,668万円	19億2,176万円
職員退職手当基金	歳入 28億6,111万円 歳出 28億6,111万円	-
霊園事業	歳入 9,772万円 歳出 9,772万円	-
介護保険事業	歳入 90億4,271万円 歳出 89億9,006万円	5,265万円
後期高齢者医療	歳入 15億2,653万円 歳出 15億2,653万円	-
合計	歳入 314億7,562万円 歳出 329億0,710万円	14億3,148万円

介護保険事業
平成22年度の決算では、5,265万円を次年度へ繰り越しました。後期高齢者医療
平成22年度の決算は歳入歳出とも15億2,653万円でした。

会計名	収入	支出	差引
水道事業	収益的 30億2,628万円 資本的 11億0,307万円	26億0,223万円 22億4,277万円	4億2,405万円 11億3,970万円
下水道事業	収益的 37億4,163万円 資本的 36億8,573万円	35億2,915万円 49億0,386万円	2億1,248万円 12億1,813万円
自動車運送事業	収益的 15億0,625万円 資本的 1,685万円	13億6,102万円 2,694万円	1億4,523万円 1,009万円
市立病院事業	収益的 95億3,816万円 資本的 8億0,515万円	94億0,071万円 11億7,155万円	1億3,745万円 3億6,640万円
土地造成事業	収益的 8億6,961万円 資本的 -	4億3,137万円 3,743万円	4億3,824万円 3,743万円
市営住宅事業	収益的 16億0,848万円 資本的 4億6,073万円	15億7,116万円 9億2,338万円	3,732万円 4億6,265万円
公設地方卸売市場事業	収益的 1億4,191万円 資本的 1,392万円	1億2,689万円 2,783万円	1,502万円 1,391万円
合計	収益的 204億3,232万円 資本的 60億8,545万円	190億2,253万円 93億3,376万円	14億0,979万円 32億4,831万円